

コミュニティ・ファンド等を活用した環境保全活動の 促進に係る調査検討業務報告書について

参考資料5

平成21年7月30日 環境計画課

H21年度

- ・運営ノウハウ集やガイドの作成
- ・市民出資・市民金融発展のための仕組みづくり

- ・H19年度・20年度のモデル事業を受け、よりよいCF運営のためのガイドラインを作成。
- ・平成20年度調査で明らかとなった、市民出資・市民金融を発展させる仕組みについて、より詳細な制度設計を行う。

H20年度

わが国における市民出資・ 市民金融の意義や役割、 発展方策等の検討

- ・H19年度の結果を受けて、我が国において市民出資・市民金融が成立するための要件を検討する。
(例)・必要なリソースを、いかに地域内で調達するか、
- ・CFの力量形成のために何が必要か、
- ・欧米等の先進ケースを参考に。政策として今後どのような取り組みが考えられるか)

H19年度

モデル事業の実施による、 CF側のノウハウ集約と 環境面・経済面での評価手法の確立

- ・モデル事業を通じて、CF側のノウハウを強化する。
- ・事業の結果、現在のCFに足りないリソースは何か、把握する。

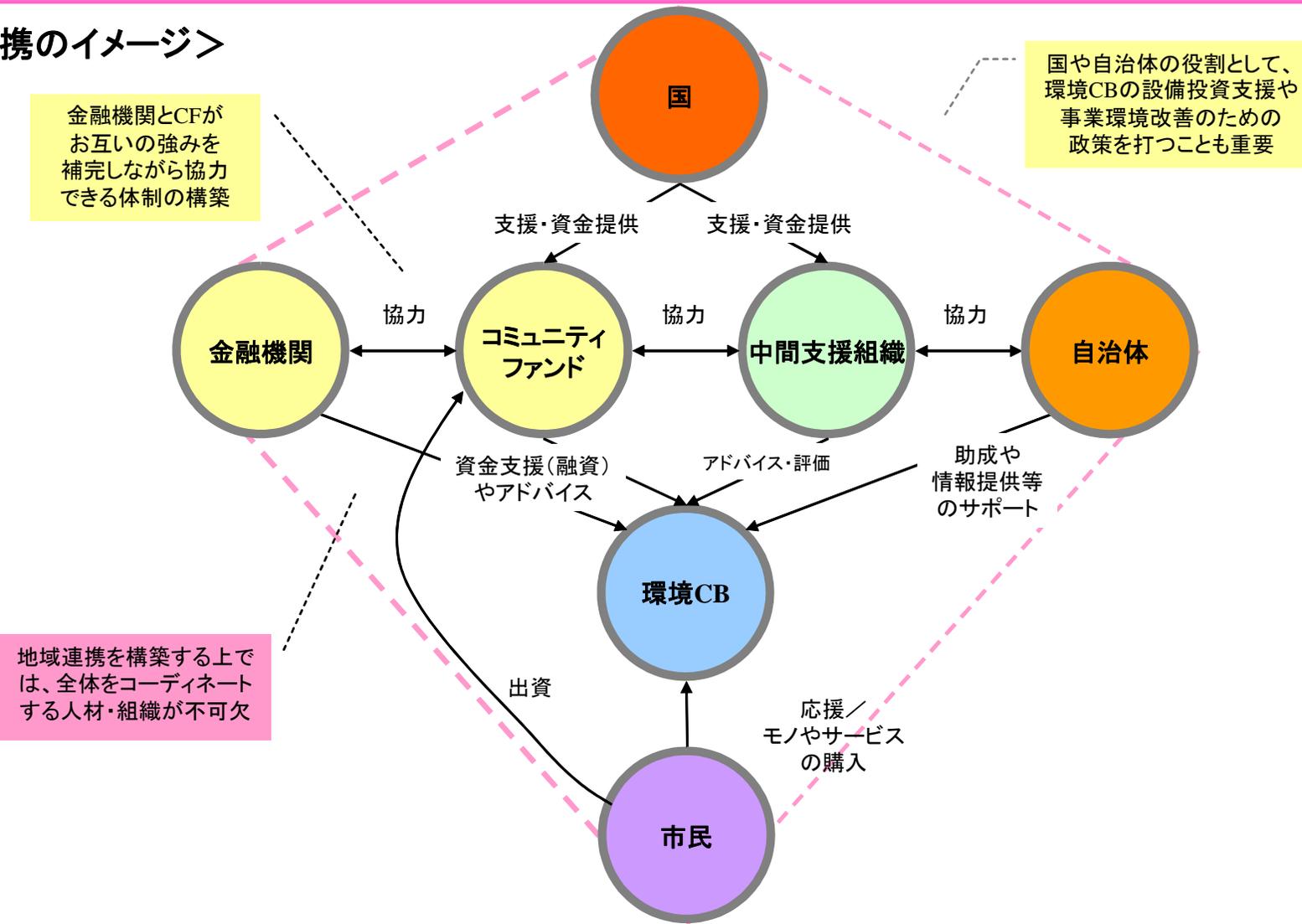
環境分野への市民出資・市民金融の仕組みをより大きな流れにするため、モデル事業を通じて、市民出資・市民金融のノウハウを集約するとともに、その結果を通じて見えてきた課題(足りないリソース)を、どのようにして補えるか検討。

これまでの主な検討成果(地域連携の必要性)

市民出資・市民金融

銀行などの金融機関ではなく、任意の団体が市民・住民からお金を集めて、地域社会貢献を目的とする地域に根ざした事業性・収益性のある事業などに対して、融資や出資を行なう仕組み

<地域連携のイメージ>



これまでの主な検討成果(今後の検討課題)

意義

環境CBの意義

- 環境CBといった新たな主体による環境問題・社会問題解決への期待
- 多様化・複雑化するニーズに柔軟かつ効率的・効果的に対応
- 社会貢献を通じた自己実現

環境CBの持続的成長を支える市民出資・市民金融の意義

- 環境問題・社会問題解決の主体としての環境CBへの期待
- 多様化・複雑化するニーズに柔軟かつ効率的・効果的に対応
- 環境CBへの出資等を通じた市民の社会貢献、自己実現

確認できた課題

市民からCF・CBへの出資を促進する施策の必要性

- ・出資者の意思を環境問題等の社会的課題解決に繋ぐ仕組み
- ・市民が安心して市民出資・市民金融に出資できる仕組み
- ・CBの成長や社会的価値を実感できる仕組み

CBの持続的成長をさせるための支援の仕組みの必要性

- ・CBの成長を支える人材の育成・ハンズオン支援の仕組み
- ・CB支援のための地域連携を促進させる仕組み
- ・支援の際のコスト負担のあり方の検討

こうした課題を解決するために必要なことは・・・？

解決方策

1 環境CBの経営課題を共に解決する人材・組織の育成・充実と、官民が協力して支援コストを吸収する仕組み作り

- 1) 環境CBの成長に必要なプロセスをマネジメント出来る人材の育成
- 2) 専門的観点からの支援を行う人材や組織の整備・充実
- 3) 支援にかかるコストを吸収する仕組みを官民が協力して創設

2 出資者が安心して出資できる仕組みや経済的インセンティブの提供

- 1) 情報的手法による安心感の提供
(CBの第三者評価/ガイドラインの検討)
- 2) 経済的手法による安心感の提供
(市民出資への税制優遇/公的機関等が協力した債務保証)

3 市民出資・市民金融を取り巻く法的課題の解決

- 1) 複数の市民出資に関する法的位置づけの明確化
- 2) 法制度や環境の整備

4 情報発信と普及啓発

- 1) 資金調達に効率的なツールの作成と一般への提供
(市民出資・市民金融の実務マニュアルの作成)
- 2) 法的な課題もフォローする市民出資相談窓口の設置
- 3) 事例の整理と提供